

2008年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(学部・研究留学生)

日本語 (C)

**注意** ☆試験時間は60分。

☆答えは全て解答用紙に記入すること。

日本語 (C)

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

I ( ) に入るもっとも適当なものを、A～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

例 意地悪なことばかり言っていると、みんなに ( ) を向かれますよ。

A はったり B じっくり C そっぽ D しっぽ

- 実際に使ってみると、想像していた以上に便利だったので、パソコンに対する ( ) を改めた。  
A 認識 B 知識 C 見識 D 面識
- 警察は過去の事件を手がかりに、犯人像を ( ) することがある。  
A 目測 B 類推 C 予感 D 仮想
- 田中さんは ( ) だと思うよ。だから、無理してやせる必要はないよ。  
A ヘルシー B クリーン C スマート D シャープ
- 彼は勉強しなかったので、なまけものの ( ) を貼られた。  
A シート B ラベル C タグ D レッテル
- そんなつまらないことで ( ) していたら、身が持たないよ。  
A うろうろ B くよくよ C いきいき D じとじと
- しまった。大切な約束を ( ) 忘れていた。  
A がっかり B うっかり C くっきり D めっきり

- 7 今日の入学試験はあまりできなかったので、合格は望み（ ）だ。  
 A 少 B 難 C 薄 D 悪
- 8 最近では学校の行事に参加するのが（ ）と感じる学生が多いようだ。  
 A わずらわしい B にかにかしい  
 C よそよそしい D まぎらわしい
- 9 つい口が滑って、社長の機嫌を（ ）ような発言をしてしまった。  
 A 損ねる B 優れなくする  
 C おとしめる D 重くする
- 10 なつかしいな。この歌を聞くと、あの頃の思い出が（ ）よ。  
 A ふりかえる B くりかえす C よみがえる D ちかづける

II ( )に入る漢字一字をA～Nの中から選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 齒 B 犬 C 雲 D 虫 E 顔 F 骨 G 笠  
 H 水 I 人 J 猫 K 服 L 鼻 M 胸 N 目

例 図書室はいつも( )を打ったように静かなので、勉強するのに最適だ。

- 1 交渉の条件が不満だったのか、相手側は木で( )をくくったような態度を取った。
- 2 恋人とけんかしたのが原因で、彼女は浮かない( )をしている。
- 3 電話一本で、今までのことをすべて許してもらおうだなんて、何とも( )のいい話だ。
- 4 今日の彼は( )をかぶったように大人しかったが、部長に会うのが初めてだったから、緊張していたのかな。

- 5 彼は父親が社長なので、その権力を（ ）に着るような態度を取っている。

Ⅲ 下線部 \_\_\_\_\_ に入るもっとも適当なものを、A～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

例 A：その日本語の本は、自分で買ったのですか。

B：いいえ。この本は、木村先生が私に \_\_\_\_\_ 本です。

A お借りした B くださった C いただいた D 差し上げた

- 1 A：たくさん本を読んでいるから、テストの勉強は進んでいるみたいだね。  
B：そうでもないんだ。本は読んでいるけど、読んだそば \_\_\_\_\_ 内容を忘れてしまうから、困っているんだ。  
A から B に C で D まで
- 2 A：彼はこの高校では有名な生徒みたいですね。  
B：ええ、成績が優秀な点 \_\_\_\_\_、野球部のエースですから。  
A はおろか B もさることながら  
C をものともせず D に反して
- 3 A：ホテルの完成までもう少しですね。  
B：完成したら、忙しくなるぞ。完成記念パーティ \_\_\_\_\_ 結婚披露宴やその他のイベントがたくさん入っているから。  
A を最後に B をはじめに C に限って D を皮切りに
- 4 A：公園で高校生たちがライブコンサートをしているみたいだから、聞きに行こうよ。  
B：いや、行かない。その高校生たちのことは知っているけど、聞くに \_\_\_\_\_ ものがあるから。  
A 他ならない B たえない C たまらない D あたらない

- 5 A : 佐藤さんは毎日遅くまで働いているけど、体の方は大丈夫かしら。  
B : うん、その点は心配しているんだ。いくら頑張っても、病気になってしまえば\_\_\_\_\_からね。  
A そのままだ B そのものだ C それだけだ D それまでだ

IV ( ) にもっとも適当なひらがな一字を入れなさい。

例：水道の水を出しっ ( ) なしにしないでください。

- 1 私たち一人一人の言語能力は様々であり、言語行動、たとえば読書傾向も読書量 ( ① ) まちまちである。国語の点数は必ず ( ② ) もそれに比例しないが、ことばや文字 ( ③ ) の関心度も個人差が大きい。「あの人は、難しいことばを使う」という場合、難解な語を駆使しているわ ( ④ ) である。特定の個人にとって理解できる語を「理解語」と呼ぶ。その集合は「理解語彙」である。そして、その中で実際にその人が使用できる語を「使用語」と呼び、その全体を「使用語彙」と呼ぶ。大型の国語辞書は数十万という単位の語が掲載されているが、一般の人の理解語彙と使用語彙は数万語という単位で収 ( ⑤ ) るようである。
- 2 現在、地球以外で液体の水が大量に存在している可能性が最も高いと考えられているのが、木星の衛星の一つエウロパである。エウロパの表面は厚さ数キロメートルの水で覆 ( ⑥ ) れているが、その下には地熱で融 ( ⑦ ) た液体の水があると予想されている。この地熱は、木星の巨大な引力によってエウロパ自体がラグビーボールのように変形 ( ⑧ ) 、内部に蓄積したひ ( ⑨ ) みが熱になったものと考えられている。太陽から受け取る熱は非常に弱く、太陽放射を基礎とした地球のような高等な生命の繁栄は望めないもの ( ⑩ ) 、地熱のエネルギーによって原始的な生命体が存在している可能性は否定できない。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

- 1 二十年ほど前までは、俳句や短歌、詩、戯曲などが多く読まれたが、近年では、それらはほとんど読まれることがなくなった。物語を読むなら、マンガの方がたやすいからである。最初から、作家のイメージが絵の形で伝えられているのだから当然である。

逆に、マンガの方が読みにくいという人たちもいる。絵と文字の組み合わせの妙や、コマの流れに沿って筋を追うことができない人たちである。( )が理解できていないのである。とりわけ、生まれたときに周囲にマンガのなかった高齢者がそのように感じることが多い。

問い ( )に入るもっとも適切な言葉をA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A マンガの文法                      B マンガの創造性  
C マンガ家の役割                    D マンガ家の重要性

- 2 歌舞伎は、今から400年前、出雲阿国が京都の北野天満宮で「かぶき踊り」を踊ったのが始まりです。江戸時代、能が武家社会の厚い保護を受けたのとは対照的に、歌舞伎は生まれた時から400年間、ずっと庶民の娯楽として発展してきました。

歌舞伎の舞台で取り上げられる内容は、実に様々です。江戸時代の日常生活や恋愛物語、武家社会の出来事を描いた作品から、怪談ものや歴史劇、神話時代の英雄劇、命を助けられた動物が人間に恩返しをする話など、まさに何でもありの状態なのです。( )などと、難しいことは考えず、とにかく一度、舞台を見て、自分でその楽しみ方を発見してみるとよいでしょう。

問い ( ) に入るもっとも適切な言葉をA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 芸術を鑑賞する                      B 庶民の娯楽を楽しむ  
C 自分なりの方法で楽しむ      D 武家が歌舞伎を保護したのはなぜか

- 3 私たちの心は、脳の中にある一千億の神経細胞の活動から生み出されることが判っている。一個の神経細胞はそれぞれ約一万個の他の神経細胞とシナプスと呼ばれる構造を通して結合し合っている。このことから想像されるように、脳は ( ① ) 複雑な器官ではあるけれども、それが私たちのまわりにある石や、水や、空気と同じ「物質」であることも、また ( ② ) 事実である。

物質である脳から、様々なことを感じる私たちの意識がどのように生み出されるのか。この「心脳問題」こそが、この世界の中に潜んでいる秩序を明らかにしてきた科学にとって、最後に残された難問であるとされている。

問い ( ) に入る言葉の組み合わせでもっとも適切なものをA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A ①かろうじて      —      ②平凡な  
B ①仕方なく      —      ②目新しい  
C ①とんでもなく      —      ②筋の通った  
D ①とてつもなく      —      ②否定のしようのない

- 4 私には、「わからない」と思うことがいくらでもある。そういうことを一つ一つつぶして行くのが人生だと思っているから、やることはいくらでもある。つまりは、人生とは「『わからない』の迷路」である。だから、そのさまざまに存在する「わからない」を、まず整理しなければならない。「木を見て森を見ず」とは言うが、「『わからない』の迷路」に圧倒されているだけの人間は、その逆の、「森を見て木を見ず」なのである。

巨大なる「『わからない』の森」は、その実、「わかりうる一本の木」の集大成なのである。だからとりあえず、「わかりうるもの」を探す。手をつけるべきは、「こんなくだらないものの答が全体像の解明につながるはずはない」と思えるようなところである。

「くだらない」——だから「どうでもいい」と思って放り投げてしまうのは、それを「わかりきっている」と思うからである。つまりそれは、「わかる」のである。「わかる」は、「わからない」を解明するためのヒントである。つまりは、「くだらない」とか「どうでもいい」と思われるものには、「わかる」へ至るためのヒントが隠されているということである。

問い 本文の内容に合うものをA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 追い求めるべきは「わからない」ことではなく、「くだらない」ことだ。
- B 「わかりきっている」ことは「くだらない」と思いがちである。
- C 「わかりうるもの」を整理していくと、「わからない」ことがだんだん増えてくる。
- D 「わかる」と思っていたものの中に実は「わからない」ことがたくさん含まれていることがある。



VI 次の文章を読んで、あとの問い1～7に答えなさい。

昔の人は善を幸福に、悪を不幸に結びつけて考えていたが、もちろん幸福や不幸はこれを勧めるも懲らしめるもなく、人生の結果としてただ眺めるしかない。正義と不正もそれぞれ善いことと悪いこととに関係がある。しかし正義と不正とが最終的にそれぞれ幸福と不幸とに一致するかと言えばその保証はなく、正義とは強者の利益の別名で善とも人間の幸福とも直接の関係はないとする立場もありうる。そこで正義がかならずしも幸福をもたらさず、不正がかならずしも不幸をもたらさないとすれば、功利主義に訴えて正義を勧め不正を排するのは無意味だということになるのだろうか。話は逆のようである。正義がかならずしも幸福をもたらさないことが明らかであるからこそ  と仮定することに意味がある。その仮定にもとづいて勧善懲悪の物語ができあがった時それが人を楽しませるのは、人がその仮定が真であることを願うからである。

その点に関してひねくれて見せるのが近代人の悪い癖らしい。人間が正義と善(あるいは幸福)との一致を願うものかと疑問を呈してみたところで、逆のことを願うと主張する勇氣は最初から持ち合わせていない以上、この疑問は結局懷疑という名の優柔不断に転化するしかない。そこで一体正義とは何か、何をもって正邪を判別するのか、と近代人はしたり顔で言うのである。これは少しばかり知恵のついた子供がよく使う手で、答えにくい質問をして大人が窮するとそれをもって確固たるものはことごとく崩れ去ったかのように言い立てる。しかし大人から反問してやればよい。お前は善悪正邪の判断もつかないのか。行動にあたってその判断もしないのか。あるいはそもそも責任を生ずるような行動を一切避けて通るのか。それならばこの相手はまさしく幼児である。決断も行動もしない幼児はその目に  世界の像を映すだけであり、これは認識とも文章を書くこととも無縁のことである。

善悪正邪の別などは本当は簡単なことなので、幼児はともかくとして、大概の子供ならそれを知っている。昔話からテレビの子供番組に至るまで、子供が好んで見る世界には善玉と悪玉、味方と敵、正しい行動と不正な行動とが截然と存在しており、子供に決断と行動とを促す。この世界の秩序は単純明快で、その意味は勧善懲悪そのものである。もちろん、ここでは正義の味方と思ったのが実は悪党で、といった逆転はいくら起こってもよい。肝心なのは結局のところ誰が善で誰が悪かということがはっ

きりしていることなのである。

子供が遊ぶ世界がそうならば、大人が遊ぶ世界にも同じ型の秩序が求められるのは当然だとは考えられないだろうか。<sup>⑥</sup> 覇の人物や憎むべき人物を決めずに小説を読んだり芝居を見たりすることはありえないと言ってよい。普通、読者はまず主人公を覇にすることに決める。それ故主人公は読者にとって英雄である。善や正義はこの英雄の一身に代表されているにちがいないと読者はひとまず仮定する。仮にこの主人公が大悪党であったことがわかったとしても、読者は依然として主人公を応援する。もちろんこれは主人公が悪党なら悪党で英雄にふさわしい限りにおいてである。

悪党でも善人でもないただの卑小な人物しか出てこない小説は読者を裏切る。メロドラマでも悪玉は必要不可欠であり、例えば女主人公をいじめて泣かす姑のように読者に憎まれるための人物は是非とも出てこなければならない。このお膳立てを低俗と笑うのは当たらない。メロドラマや単純な勧善懲悪物語を笑う人間が、「体制」とか「権力」とかは悪で、これに楯突くのが正義だという、これまた単純素朴な図式を平気で援用しているのはよくある話である。

しかしいずれにしてもこれは遊びの世界の約束事であって、大人の現実の世界をこれで手軽に律することはできない。その時に混乱の余り、正も邪も善も悪もないといって決断も行動も放棄する人間は子供にとどまるしかない。確かに、大人の行動の世界には単純な勧善懲悪の話はない。正義か不正かに分類できる行動というよりも、適切か不適切か、賢明か愚劣かに分類すべき行動が大人の世界を構成している。それを描けば大人にも読める小説ができあがることになる。そのような小説が単純な勧善懲悪の型にははまらないとしても、それは善悪正邪の問題を切り捨てるという重大な、かつ誤った選択をした結果ではないことだけは言うておかなければならない。

問い1 下線部①～⑩の漢字の読み方をひらがなで解答用紙に書きなさい。

- |        |      |        |       |
|--------|------|--------|-------|
| ① 眺める  | ② 癖  | ③ 確固たる | ④ 大概  |
| ⑤ 肝心な  | ⑥ 覇  | ⑦ 楯突く  | ⑧ 約束事 |
| ⑨ 放棄する | ⑩ 愚劣 |        |       |

問い2 下線部(a)「正義とは強者の利益の別名」とはどういう意味か。もっとも近いものをA～Dから一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 強い者が正しいことをする者の邪魔をすることがある
- B 正しいことをする者は強い人に助けをもらえる
- C 正義とは強い者が自分の立場を正当化するために使うことばだ
- D 強い者に味方することは正義に反する

問い3 空欄  に入るもっとも適当な文をA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 正義はかならず幸福をもたらす
- B 不正を見たらかならず正義に訴える
- C 不正を排するのは無意味だから正義を勧める
- D 不正を勧め正義を排することに意味がある

問い4 下線部(c)「したり顔で」ともっとも意味が近い言葉をA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 真面目に
- B 得意気に
- C 悲しそうに
- D 腹を立てて

問い5 空欄  に入るもっとも適当な言葉をA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A すきのない
- B 厚かましい
- C とりとめのない
- D 嘆かわしい

問い6 下線部(e)「このお膳立てを低俗と笑うのは当たらない」とはどういう意味か。もっとも近いものをA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A このような演出は失笑を買うだけなのでするべきではない
- B このような登場人物の配置の仕方は安っぽいと馬鹿にするのは間違いだ
- C このような物語の展開は子供に人気がありおもしろいが採用されにくい
- D このような状況の設定では笑えないコメディになってしまい嫌われる

問い7 本文の内容と一致するものをA～Dの中から一つ選び、解答用紙にその記号を書きなさい。

- A 正義とはどのようなものかと問われれば答えにくいだが、正邪の区別はほとんどだれでもできる。
- B 正義と不正が最終的にそれぞれ幸福と不幸とに一致する社会を築きたい。
- C 昔からひねくれた人は正義と善が一致しないことを望む。
- D 小説の主人公が悪党だと分かったら、顛覆にする読者はすくなくない。